

長野県高等学校総合文化祭、通称「県総文祭」は、県内高等学校の文科系クラブが結集し、日頃の活動の成果を発表しあう、高校生の文化の祭典です。

今年のテーマは、「花鳥風月～僕らの青春を文化の懸け橋に～」。「花鳥風月」は、長野県の豊かな自然を表し、「僕らの青春を文化の懸け橋に」には、高校生が行っている文化活動をより広げていきたいという思いが込められています。

今年度は第 21 回目を迎え、10 月 31 日から 11 月 2 日にかけて、北信地域の各会場で多彩なプログラムが行われました。その模様の一部をご紹介します。

◆パレード (10 月 31 日 (金))

総文祭の開会に先立ち、マーチングバンドやバトントワリング、チアリーダーなどが華やかに長野市内をパレードし、総文祭をアピールしました。沿道では、多くの人が声援を送ったり、写真撮影をしたり、賑やかにお祭りムードを盛り上げていました。

途中のトイゴ広場と終点のイトーヨーカドー広場では、参加団体によるパフォーマンスが行われました。集まった人たちは、笑顔での迫力あるパフォーマンスに引き込まれ、大きな歓声や拍手を送っていました。



広場でのパフォーマンス



マーチングバンドのパレード

◆オープニングセレモニー【総合開会式】(11 月 1 日 (土))

紅葉真っ盛りのホクト文化ホール。

セレモニーの幕開けは、実行委員会によるオープニングビデオの上映。総文祭を裏で支える実行委員の皆さんの熱い思いを感じました。続いて、県内各校の書道部による書道パフォーマンス。大筆で今年のテーマ「花」「鳥」「風」「月」を力強く書き上げました。

実行委員長による開会宣言の後、ステージでは邦楽、ギター・マンドリン、放送、合唱、オーケストラなど、盛りだくさんの発表が行われました。

第 1 部のフィナーレは、北信地区高等学校の合唱部・合唱班と、長野県高等学校選抜オーケストラによる合同演奏。多くのクラブが集まる、総文祭ならではのコラボレーションです。総勢約 180 名による、エルガーの「威風堂々」第 1 番のメロディーに歌詞をつけた楽曲「希望と栄光の国 Land of Hope and Glory」は、大迫力の演奏でした。

この他にも、演劇、バトン・チア、和太鼓、弁論、吟詠、華道パフォーマンス、ファッションショーなどの舞台発表や、写真や美術・工芸、書道などの展示発表が行われました。

どのプログラムも、日頃の活動の成果が発揮された質の高い発表で、高校生のエネルギーに圧倒されました。参加した高校生の皆さんにとっても、大会を通じて多くの仲間と交流し、お互いに刺激しあう経験は、かけがえのない財産となったのではないかと思います。

4 年後の平成 30 年度には、長野県で第 42 回全国高等学校総合文化祭が開催されます。多くの県民の皆様は、高校生の活動を知っていただき、全国総文祭長野大会が大成功を収められるよう、期待したいと思います。



北信リーダーズコールと長野県選抜オーケストラの大合奏



玄関ホールでは、そば打ちの実演や物産販売も行われました。

◆お問い合わせ◆

教育総務課企画係

TEL 026-235-7423 FAX 026-235-7487

E-mail : kyoiku@pref.nagano.lg.jp